

天王星の1942年

天王星は此の1942年中、牛座のプレヤデス星群の南邊を往復してゐる。附近に紛はしい星が無いから、比較的容易に見出される。殊に此の年は、天界の美星“土星”が、近くを運行してゐて、常に此の二大遊星が連れ立つてゐるから、肉眼人にも、望遠鏡人にも、興味ある見ものである。

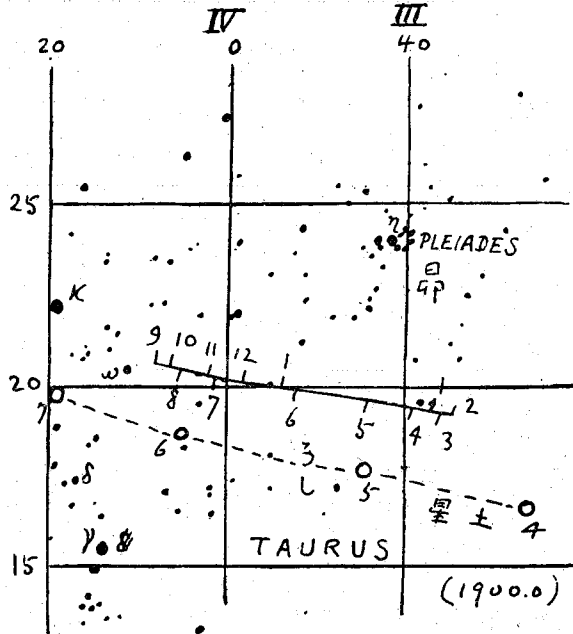
年の初めは、昨年末來の逆行を續けてゐるが、二月4日からは、停留に次いで順行に移り、九月10日にω星の西隣で再び停留するまで、この運行は續けられる。土星との最接近期は四月末から五月初である。

天王星は、1781年に望遠鏡によつて大ハッセルが発見した星であるけれど、光度は、對衝の頃、5等級にもなるのであるから、馴れさへしたら、肉眼にも見分けられる。この附圖をたよりとして、プレヤデスの南を捜すが宜しい。

4つの衛星が天王星にはあるが、其のうち2つは、光度が淡くて、見出し悪い。

すべて此の天王星系の觀測は秋九月頃から始まつて、翌年二月頃に終る。

天王星の經路 (毎月の初日の位置)



1942年のカリントン太陽自轉期

世界時 (日本時)	世界時 (日本時)
1月 20.076日 (20日 10時49分) 第1182期始	7月 2.693日 (3日 1時38分) 第1188期始
2月 16.418日 (16日 19時01分) 第1183期始	7月 29.900日 (30日 6時36分) 第1189期始
3月 15.744日 (16日 2時52分) 第1184期始	8月 26.133日 (26日 12時12分) 第1190期始
4月 12.036日 (12日 9時52分) 第1185期始	9月 22.395日 (22日 18時28分) 第1191期始
5月 9.284日 (9日 15時48分) 第1186期始	10月 19.680日 (20日 1時19分) 第1192期始
6月 5.495日 (5日 20時53分) 第1187期始	11月 15.982日 (16日 8時34分) 第1193期始
	12月 13.298日 (13日 16時09分) 第1194期始